

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	117 地域交通対策事業	会計	01	一般会計
		款	02	総務費
		項	01	総務管理費
基本 施策	51 市内交通機関の利便性を高める	目	06	企画費
		細目	125	バス等対策事業経費
		細々目	53	地域交通対策事業
行革大綱の重点事項番号		6・7		
担当部署	コード	11300	担当者	22 - 9621
	名称	企画課	氏名	森 健至 連絡先 (内線) 2115

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	公共交通利用不便地区における移動手段の確保	※対象件数
成果(どうする)	伊賀市交通計画に基づき、住民と行政が支えあう形で、公共交通利用不便地区の解消を図る。	
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成 21 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業 内容	市が市町村運営有償運送の許可を取得し、公共交通利用不便地区である比叡岐地区において運行するコスモス号の運行を比叡岐コスモス号運行連絡協議会に委託した。	
社会情勢 の変化等	国土交通大臣の許可を得て道路運送法第79条バスとして平成21年4月から運行開始	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
一日あたりの運行便数		便	目標	12		
			実績	12	12	12
			目標			
			実績			
件		件	目標			
			実績			
			目標			
			実績			

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
年間利用者数	必要があるか		人	目標	3000	2300	
				実績	1866	1629	1800
				目標			1850
				実績			
%			%	目標			
				実績			
				目標			
				実績			

投入コスト	H20 決算	H21 決算	H22 当初予算	H23 当初要求
直接事業費計(A)	1,550	5,373	2,000	2,000
Aの 財源 内訳				
国庫支出金				
県支出金		264	380	380
地方債				
その他	0	323	450	450
一般財源	1,550	4,786	1,170	1,170
事業投入人件費(B)	0.1人	1,008	0.1人	1,008
フルコスト(A)+(B)	2,558	6,381	3,008	3,440

事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	○
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	○
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
有効性	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	○
	地域が支えるバス運行方式のモデルであり、一定の利用を確保している。	
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合は、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	○
	コスモス号の運行が困難になり、交通空白地域を生むことになる。	
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
	当初設定した計画を 100% 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
効率性	予算の繰越の有無	無
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	○
	全体コストにおける負担構成は適正である。	○
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	経費面において効率的な運送であり、79条路線の転換を進めた。
【状況】	計画のとおり進んでいる
【詳細】	
昨年度の取組状況	比叡岐地区で無償運行してきたコスモス号を、より効率的な運行にするため、道路運送法第79条による市町村営有償運送に転換した。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	増田 基生
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	比叡岐コスモス号は、市の運行業務委託の形態をとるものの実質的には比叡岐地域で支える意識のもとにバス運行をする伊賀市独自の運行システムである。これを地域におけるバス運行方式のひとつのモデルケースとすることができる。
現時点における課題、その他	将来にわたってコスモス号が安全に安定した運行が継続できること。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	5年以内を目途に、運行主体を現在の市の業務委託方式から、NPOや地縁団体など法人格のある主体が自主運行し、市がそれに対し支援する形に移行することを提案する。